

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-133	高等学校	国 語	国語総合	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	国総 334 335	国語総合 現代文編 古典編		

1.編修の趣旨及び留意点

- ①適切に表現し、的確に理解する言語能力を育成し、伝え合う力を高める。
- ②論理的思考力を身につけるとともに、豊かな感性や情緒を育み、言語文化に対して関心を持つ。
- ③教材本文とコラム・附録とを有機的に関連させ、多様な学習に対応できるようにする。

2.編修の基本方針

- ①適切に表現し、的確に理解する言語能力を育成し、伝え合う力を高める。
 - ・各単元扉に、その単元での学習目標を示すとともに、現代文編では、教材ごとに学習する主な目標も示しました（詩歌単元を除く）。また、「学習の手引き」において、学習が効果的に行えるようなポイントを示しました。
 - ・「言語活動編」を設け、その活動と現代文編の教材本文との関連を図ることで、「話す・聞く」「書く」「読む」の学習が、有機的・効果的に行えるようにしました。
 - ・話し合ったり書いたものを読み合ったりする活動を豊富に配置し、更に相互評価する活動を取り入れることにより、伝え合う力を高められるように工夫しました。
- ②論理的思考力を身につけるとともに、豊かな感性や情緒を育み、言語文化に対して関心を持つ。
 - ・現代文編では、論理的思考力を身につける教材として、評論4単元を用意し、人間・社会・言語などの分野のものをバランスよく採録、配置しました。
 - ・豊かな感性や情緒を育む教材として、小説3単元・詩歌1単元を用意し、さまざまな形式の文学に触れられるようにしました。また、筆者の豊かでユニークな感性が表れた随想1単元を配置しました。
 - ・古文編・漢文編でも、古文編は9単元、漢文編は5単元を用意し、論理的思考力を身につけるとともに、豊かな感性や情緒を育み、伝統的な言語文化に対して関心を持つことができる教材を、時代やジャンルのバランスに配慮して配置しました。
- ③教材本文とコラム・附録とを有機的に関連させ、多様な学習に対応できるようにする。
 - ・現代文編では「参考」(4か所)を設け、単元や教材で学習した内容に関連する資料を示しました。
 - ・現代文編では「文学への扉」(3か所)および「思考への扉」(4か所)、古文編では「古文の窓」(5か所)、「コラム」(1か所)および「和歌の解釈」(1か所)、漢文編では「漢文の窓」(5か所)をそれぞれ設け、単元や教材で学習した内容を深めたり広げたりできるようにしました。
 - ・古文編では「古文学習のしるべ」(4か所)を設け、古文に関する基本的知識や文法事項を、読むことの学習に即して身につけられるようにしました。
 - ・現代文編の附録には、「教材編」として評論5教材・小説1教材、「資料編」として「近代文学史キーワード」「評論文キーワード」「評論読解へのアプローチ」「近代文学者の背景」などを、古典編の附録には、各種文法資料や「古文重要語句索引」「日本古典文学史年表」「漢文句法・重要語のまとめ」「中国文学史年表」などを用意し、多様な学習に対応できるようにしました。
 - ・古典編では、古典の世界についての理解を深める資料として「古典参考図録」を設けました。

3.対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所	
現代文編	1 評論 1	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の進歩にともない、人間が本来持っていた道徳が忘れられていくのではないかと指摘する評論を用意しました。(第1号) ・水を鑑賞するという行為をもとに、日本と西洋との文化の違いを比較して述べる評論を用意しました。(第5号) 	→8～12ページ →13～17ページ
	2 小説 1	・極限状態にある人間が、正義と悪の間を揺れ動く様子を通じて、正義とは何か、勇気とは何かについて考える小説を用意しました。(第3号)	→26～39ページ
	3 評論 2	・他者が他者として立ち現れる「顔」の現象を通じて、現代社会におけるコミュニケーションの在り方について論じる評論を用意しました。(第3号)	→44～50ページ
		・人間にとって自由とは何かを、時間との関係で述べる評論を用意しました。(第2号)	→58～67ページ
	4 随想	・広島で被爆死した少女が着ていた衣服を通じて、平和について考える随想を用意しました。(第5号)	→70～79ページ
	5 小説 2	・死に直面する経験をした「私」が、他者の死に接することで自らの生を意識し、生と死について考える小説を用意しました。(第4号)	→86～96ページ
	6 評論 3	・オリジナルが1つだけだった時代と、複製技術の時代といわれる今日を比べ、現代を生きる人間には何が必要かを述べる評論を用意しました。(第3号)	→116～125ページ
		・メディアの発展によって、社会的な規範が変化していくことを指摘した評論を用意しました。(第1号)	→126～131ページ
	7 詩歌	・P138「I was born」、P142「自分の感受性くらい」など、高校生の情操を培うのにふさわしい詩・短歌・俳句を用意しました。(第1号)	→134～152ページ
8 評論 4	・生物の多様性を守り、環境を保全するには、人間は何をすべきかを述べる評論を用意しました。(第4号)	→154～160ページ	
	・豊かな社会の中で、個人としてどのように生きればよいかを考察した評論を用意しました。(第2号)	→170～177ページ	
9 小説 3	・周囲の人々との交流の様子や主人公の心情が、折々の富士山の景観に対する印象を交えて語られる小説を用意しました。(第5号)	→182～197ページ	
言語活動編	・クラスで自己紹介を行う課題を通じて、他者との協力の態度を養い、自己と他者に対する理解を深める教材を用意しました。(第3号)	→210～211ページ	
	・「生物多様性」というテーマについて、現状や問題点などを調査・発表するとともに、自然について考える態度を養う教材を用意しました。(第4号)	→212～215ページ	
	・「外来語の使用」というテーマで討論し、ルールを守りながら主体的に議論へ参加する態度を養う教材を用意しました。(第3号)	→216～219ページ	
	・自分が見たり感じたりしたことを随筆にまとめる課題を通じて、表現の工夫の仕方を学び、創造性を培う教材を用意しました。(第2号)	→220～221ページ	
	・「感情」について述べられた文章を読んで、根拠を明確にし、論理を工夫しながら自分の意見を述べる教材を用意しました。(第1号)	→222～225ページ	
古文編	1 古文入門	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の能力や生き方などについて考えることができる教材を用意しました。(第2号) ・伝統的な言語文化を理解するための基本的な力を培うことができる「古文学習のしるべ」を用意しました。(第5号) 	→12～13, 16～19ページ →10～11, 14～15, 20ページ
	2 随筆 1	・普遍的真理や処世訓などについて述べた教材を用意しました。(第1号)	→24～30ページ
	3 物語	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との心の通じ合いや相手を思いやる心を描いた教材を用意しました。(第3号) ・古文の世界のより深い理解に資するコラムを用意しました。(第1号) ・和歌の解釈の仕方を身につけることができるコラムを用意しました。(第1号) 	→34～41, 44～52, 54～55, 58～59ページ →42～43, 56ページ →57ページ

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
古文編	4 日記	・他者との共生や周囲の人への愛情など、人間の営みについて考えることができる教材を用意しました。(第3号)	→62～70ページ
	5 随筆2	・自然や人為に対する感性を育むことができる教材を用意しました。(第1号)	→74～79ページ
	6 軍記物語	・相手を思いやる心や人間の生き方について考えることができる教材を用意しました。(第3号)	→82～92ページ
	7 和歌	・和歌に表れた情景や心情から、生命や自然についての考えを深めることができる教材を用意しました。(第4号) ・それぞれの時代における桜の歌を読み比べる活動を通じて、伝統的な言語文化に親しむことができる教材を用意しました。(第5号)	→96～107ページ →110～112ページ
	8 俳諧	・自然の景観と人間の営みについて描いた教材を用意しました。(第4号)	→114～121ページ
	9 古文の広がり	・古文の世界の多様性に触れることができる教材を用意しました。(第5号) ・言葉の変遷について論じた教材を用意しました。(第5号)	→124～132ページ →127～132ページ
漢文編	1 漢文入門	・熟語や人口に膾炙した格言を通じて、訓読の方法や日本における漢文の受容について知ることのできる「訓読の基本」を用意しました。(第5号)	→134～143ページ
	2 寓話	・漢文についての理解を深める「漢文の窓」を用意しました。(第5号)	→152ページ
	3 唐代の詩文	・自然の雄大さや季節の情景に触れた唐詩を用意しました。(第4号) ・唐詩が日本の文芸に与えた影響を示す「参考」を用意しました。(第5号)	→154～155ページ →156, 158, 159, 162ページ
	4 史話	・友情や信頼の大切さについて考える教材を用意しました。(第3号)	→168～169ページ
	5 思想	・学問の重要性、人を思いやる心、社会に対する態度について考える教材を用意しました。(第1号)(第2号)(第3号)	→178～182ページ

4.上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 中学校までの学習内容との関連を図ることができるよう、教材の採録の仕方を工夫しました。(学校教育法第51条1号)
- 日常的に読書に親しみ教養を高めるために、「文学への扉」および「思考への扉」の中に「読書案内」を設け、「現代文編」の各単元に掲載している教材について、筆者・作者やジャンル・テーマに関連する図書を掲げました。(学校教育法第51条2号)
- 社会人として必要とされる国語の能力の基礎を身につけることができるように、「言語活動編」において、スピーチ、調査・発表、討論、通知文、情報の読み取り、実用文などを取り上げました。(学校教育法第51条3号)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-133	高等学校	国 語	国語総合	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	国総 334 335	国語総合 現代文編 古典編		

1.編修上特に意を用いた点や特色

- ①**目標**…表現力や理解力の育成, 伝え合う力の向上など, 「目標」に示された総合的な言語能力を養うため, 「内容」に示された3領域1事項の学習が効率的・有機的に行えるようにしました。
- ②**「A話す・聞く」**…「言語活動編」の1～3にスピーチ, 調査・発表, 討論の教材を用意するとともに, 「読む」教材との相互関連を図りました。
- ③**「B書く」**…「言語活動編」の4～6に随筆, 意見文, 通知文を書く教材を用意するとともに, 「読む」教材との相互関連を図りました(「通知文」を除く)。
- ④**「C読む」**…教材については, 「3内容の取扱い」(6)ウの観点に示された事項に留意して選定しました。
 - ・読書については, コラム「思考への扉」および「文学への扉」中において, 「現代文編」の各単元に掲載している教材について, 筆者・作者やジャンル・テーマに関連する図書を掲げました。
 - ・言語活動については, イの情報とウの実用文は「言語活動編」7・8で, アの書き換えとエの読み比べは「古文編」「漢文編」で示しました。
- ⑤**「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」**
 - ・「古文編」「漢文編」では, 伝統的な言語文化への興味・関心を広げられるような教材を用意しました。
 - ・文語のきまり・訓読のきまりは, 読むことの学習に即して取り上げられるように配慮しました。「古文学習のしるべ」や「訓読の基本」などでは, 教材に即して重点的に扱えるようにしました。
 - ・語彙および漢字については, 「現代文編」の各教材末に「漢字と語彙」を示しました。

2.対照表

単元	教材名	指導事項・言語活動例との対応				頁	配当時数				学期
		話	書	読	伝		話	書	読	計	
現代文編											
1 評論1	技術が道徳を代行する時	ウ	イ	ア, エ	イ(イ), ウ(ア)	8			2	2	
	水の東西	イ/【言】ア	エ	ア, エ	イ(イ), ウ(ア)	13					
	■思考への扉1 文化の東西			オ		24	1		1	2	
	客観的と抽象的	ア	イ, エ, / 【現】イ	ア, エ	イ(イ), ウ(ア)	18		1	1	2	
	【言語】1 スピーチする	イ, ウ, エ/ 【言】ア				210	2			2	
2 小説1	羅生門	ア, ウ/ 【言】ウ	エ	ア, ウ	イ(イ), ウ(ア)	26					
	■文学への扉1 虚構ということ			オ		42	1		3	4	
	【言語】3 討論する	ア, イ, ウ, エ/【言】ウ				216	4			4	
3 評論2	〈顔〉という現象	ア	イ	ア, イ, エ	イ(イ), ウ(ア)	44			2	2	

単元	教材名	指導事項・言語活動例との対応				頁	配当時数				学期
		話	書	読	伝		話	書	読	計	
	言葉は「ものの名前」ではない	ウ／【言】ウ	イ	ア, イ, エ	イ(イ), ウ(ア)	51			2	2	1 学期 31
	時間と自由の関係について	ア	イ, エ／【言】イ	ア, イ, エ	イ(イ), ウ(ア)	58		1	2	3	
	■思考への扉2 「自由」を論じる			オ		68					
	〔言語〕5 意見文を書く		ア, イ, ウ, エ／【言】イ			222		8		8	
4随想	少女たちの「ひろしま」	ウ	エ	ア, ウ, エ	イ(イ), ウ(ア)	70			2	2	
	蟬と日本語	ウ	ア, ウ, エ／【言】ア	ア, ウ, エ	イ(イ), ウ(ア)	80		1	1	2	
	〔言語〕4 随筆を書く		ア, ウ, エ／【言】ア			220		6		6	
5小説2	城の崎にて	イ／【言】ア	エ	ア, ウ, エ, オ	イ(イ), ウ(ア)	86					
	■文学への扉2 「自分」という語			オ		108			3	3	
	鏡	イ	ア	ア, ウ, エ	イ(イ), ウ(ア)	97			2	2	
6評論3	広告の形而上学	イ	イ, エ／【言】イ	ア, イ, エ	イ(イ), ウ(ア)	110		1	2	3	
	映像文化の変貌	イ	イ	ア, イ, エ	イ(イ), ウ(ア)	116		1	2	3	
	〔言語〕8 実用文について考える	イ, ウ		ア, イ, エ, オ／【言】ウ		234			2	2	
	メディアがつくる身体	ア, ウ／【言】ウ	イ	ア, イ, エ	イ(イ), ウ(ア)	126	1		2	3	
	■思考への扉3 人間の境界			オ		132					
〔言語〕7 情報を読み取る	ウ, エ		ア, イ, エ, オ／【言】イ		228	1		2	3		
7詩歌	小景異情	ウ	エ	ア, ウ	イ(ア)	134			1	1	2 学期 35
	汚れつちまつた悲しみに…	ウ	エ	ア, ウ	イ(ア)	136			1	1	
	I was born	ウ	エ	ア, ウ	イ(ア)	138			1	1	
	自分の感受性くらい	ウ	エ	ア, ウ	イ(ア)	142			1	1	
	十五の心—短歌抄	ウ	エ	ア, ウ	イ(ア)	144			1	1	
	白牡丹—俳句抄	ウ	エ	ア, ウ	イ(ア)	148			1	1	
8評論4	生物の多様性とは何か	ア, イ, エ／【言】イ	イ, エ	ア, イ, エ	イ(イ), ウ(ア)	154	1		2	3	
	■思考への扉4 共有地の悲劇			オ		180					
	〈私〉時代のデモクラシー	ア, ウ／【言】ウ	イ	ア, イ, エ	イ(イ), ウ(ア)	161		1	2	3	
	暇と退屈の倫理学	ア	イ, エ／【言】イ	ア, イ, エ	イ(イ), ウ(ア)	170		1	2	3	
	〔言語〕2 調査して発表する	ア, イ, ウ, エ／【言】イ	イ			212	3	1		4	
9小説3	富嶽百景	イ／【言】ア	エ	ア, ウ, エ, オ	イ(イ), ウ(ア)	182	1		3	4	3 学期 24
	■文学への扉3 文体の特色			オ		208					
	神様	イ	エ	ア, ウ, エ	イ(イ), ウ(ア)	198		1	2	3	
	〔言語〕6 通知文を書く		ア, エ／【言】ウ			226		4		4	
現代文編 計							15	27	48	90	

単元	教材名	指導事項・言語活動例との対応				頁	配当時数				学期
		話	書	読	伝		話	書	読	計	
古文編											
1古文 入門	検非違使忠明			ア, イ	ア(イ), イ (ア)	8					1 1
	●古文学習のしるべ1 古文の言葉と仮名遣い				ア(イ), イ (ア)	10					
	絵伝師良秀			ア, イ	ア(イ), イ (ア)	12					
	●古文学習のしるべ2 現代語訳のために				ア(イ), イ (ア)	14					
	大江山の歌			ア, イ	ア(イ)	16					
	数寄の楽人			ア, イ	ア(イ)	18					
	●古文学習のしるべ3 係り結び／仮定条件と 確定条件				ア(イ)	20					
2随筆1	徒然草			ア, イ	ア(イ)	22					4 4
	■古文の窓1 兼好法師, こんな一面も			オ	ア(ア)	32					
3物語	竹取物語			イ, ウ	ア(イ)	34					2 2
	■古文の窓2 物語の隆盛			オ	ア(ア)	42					
	伊勢物語			イ, ウ	ア(イ)	44					
	〔言語〕1 古典を自分の言葉で書き換 える		ア, エ	ウ／【言】ア	ア(ア)	53		1			
	■古文の窓3 恋愛と結婚			オ	ア(ア)	56					
	○和歌の解釈			オ	ア(イ), イ (ア)	57					
	大和物語			イ, ウ	ア(ア)	58					
4日記	土佐日記			ア, エ	ア(イ)	62					3 3
	〈コラム〉 吉日・吉方と旅立ち			オ	ア(ア)	71					
	■古文の窓4 月と暦, そして古典			オ	ア(ア)	72					
5随筆2	枕草子			ア, エ	ア(イ)	74					3 3
6軍記 物語	平家物語			ア, ウ	ア(イ)	82					2 2
	■古文の窓5 『平家物語』の合戦装束 描写			オ	ア(ア)	94					
7和歌	万葉集			ア, ウ	ア(イ), イ (ア)	96					1 1
	古今和歌集			ア, ウ	ア(イ), イ (ア)	100					1 1
	新古今和歌集			ア, ウ	ア(イ), イ (ア)	104					
	●古文学習のしるべ4 和歌の修辞				ア(イ), イ (ア)	108					1 2
	〔言語〕2 桜の歌を読み比べる		イ, エ	ア, ウ／ 【言】エ	ア(ア), イ (ア)	110		1			
8俳諧	奥の細道			ア, エ	ア(ア), ア (イ)	114					2 2
9古文の 広がり	盗人入りしあと			イ, エ	ア(イ)	124					1 1
	田舎にいにしへの雅言の残 れること			イ, オ	ア(ア), ア (イ), イ(ア)	127					1 1
	「おもしろい」と「おかしい」			オ	ア(ア), イ (ア)	130					1 1
古文編 計							0	2	29	31	

単元	教材名	指導事項・言語活動例との対応				頁	配当時数				学期
		話	書	読	伝		話	書	読	計	
漢文編											
1漢文 入門	訓読の基本				ア(ア・イ), イ(ア・イ)	134			2	2	1 学 期 7
	故事成語一三編			ア, イ, ウ, オ	ア(ア・イ), イ(イ)	144			2	2	
2寓話	寓話一三編			ア, イ, ウ, オ	ア(ア・イ), イ(イ)	148			3	3	
	■漢文の窓1 漢文の中での「名前」			オ	ア(ア)	152					
3唐代の 詩文	唐詩一十首			ア, イ, ウ, オ/【言】エ	ア(ア・イ), イ(イ)	154			3	3	
	■漢文の窓2 漢詩のきまり				ア(イ)	163					
	文			ア, イ, ウ, エ	ア(ア・イ), イ(イ)	164		1	1	2	
	〔言語〕3 訳詩を書く		ウ, エ/ 【言】ア	ア/ 【言】ア, エ	ア(ア), イ(ア)	166					
4史話	十八史略			ア, イ, ウ, エ, オ	ア(ア・イ), イ(イ)	168			3	3	2 学 期 9
	■漢文の窓3 交友論			オ	ア(ア)	176					
5思想	論語一十三章			ア, イ, ウ, エ	ア(ア・イ), イ(ア・イ)	178			3	3	
	■漢文の窓4 孔子と弟子たち			オ	ア(ア)	183					
	孟子			ア, イ, ウ, エ	ア(ア・イ), イ(ア・イ)	184			1	1	
	■漢文の窓5 孟子の説得術			オ	ア(ア)	186					
漢文編 計							0	1	18	19	
合計							15	30	95	140	
[備考] ・見出し欄の「話」は、「話すこと・聞くこと」領域、「書」は「書くこと」領域、「読」は「読むこと」領域、「伝」は「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」を指す。 ・「指導事項・言語活動例との対応」の「話」「書」「読」欄に、【言】とともに示された記号は言語活動例を表し、それ以外の記号は指導事項を表す。											